

シャローム shalom

No.128
2015.3

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



こころ寄り添う訪問看護をめざして

新しい年度に向け、日本は少子高齢社会の中、医療介護福祉における社会保障政策が今まで以上に大きく変わろうとしています。疾病や障害を持ちながらも「可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を継続する」ことができるよう、包括的に切れ目なくサービスが提供されることを目標に、介護・予防・医療・住まい・福祉サービスを含めた生活支援サービスについて見直しがされます。

日本バプテスト連盟医療団も、在宅支援部門においては、以前より老人介護保健施設、居宅介護支援事業所、緩和ケア訪問看護ステーション、訪問リハビリテーションがありますが、地域住民の方々のニーズにお応えできるよう、昨年9月より院内から訪問看護

さ さ き あ つ こ
訪問看護ステーション 看護師 佐々木 厚子

活動を始めています。また、近年の疾病構造の変化や独居世帯の増加など生活形態を見据えて、多様な疾患や予防看護に対し幅広く活動ができるよう、地域で活動されている訪問薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士など他職種の方との連携が必要であり、顔の見える在宅支援チーム作りを目指していきます。さらに、柔軟なオプションの構築も取り入れた新たな訪問看護ステーションの開所に向けて準備を進めているところです。

これからもスタッフと共に自己研鑽に励み、当院の基本理念である全人医療に基づき、誠心誠意を込めて温かいステーション作りに努めてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

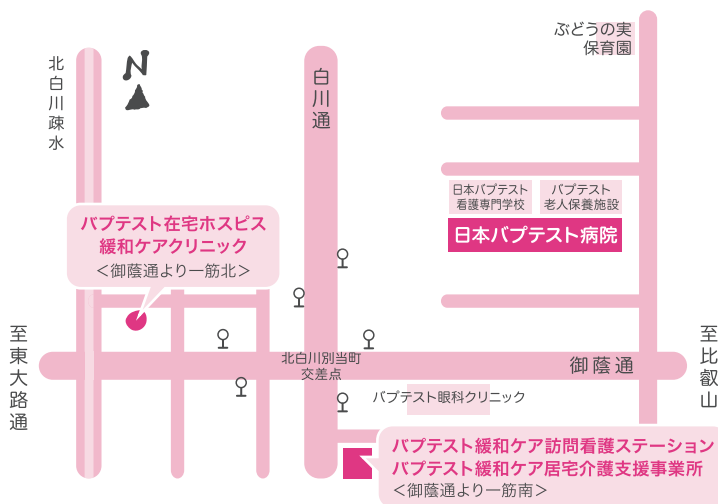
2014年度医療団標語聖句 (マタイによる福音書25章40節より)

わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。

News



2月1日より、バプテスト居宅介護支援事業所が、バプテスト緩和ケア訪問看護ステーションが入っているビルの1階で業務を開始いたしました。



Relay Column

バプテストリレーコラム

vol.24 Xmas、大盛況!

広報委員会 委員長 **武内 郁夫**

委員会では「2014年のXmasは、楽しい企画を考え病院の広報活動に繋げることはできないかな?」と考えて、2つ実行しました。まず1つは、「Xmasイルミネーション」。今までは病院玄関前の木にシンプルなイルミネーションを飾っていましたが、今年はLEDライトをバージョンアップし、サンタ・スノーマンと言ったキャラクターを設置しました。そのかいあって、寒い夜も明るくかわいく照らしてくれ、イルミネーション前で写真撮影されている患者さんやお子さんをたくさん見かけることが出来ました。それを見ることで、職員も心が温かな気持ちになることが出来ました。もう1つは、Xmas当日の25日に2種類のカレンダーのプレゼントを行いました。サンタクローズとトナカイに変装した職員を筆頭に、数カ所入院患者さんや外来患者さんにプレゼントさせていただきました。

Xmasに病院来てよかった!とあっていただければ幸いです。次回のXmasも楽しい企画を考え、みなさんに喜んでいただきたいと考えています。



薬でつながるちょっといい話

vol.2 新しい糖尿病治療薬について

はしい ゆうこ
薬剤部 **橋井 祐子**

近年、糖尿病の治療が大きく変わっているのはご存知ですか?インクレチン製剤という従来の作用機序と全く異なるお薬が登場し、注目を集めています。

インクレチンとは、小腸から分泌されるホルモンです。血糖が高いときにだけインスリンを分泌して血糖を下げる作用がありますが、すぐにDPP-4という酵素で分解されてしまいます。インクレチン製剤には、DPP-4の働きを抑えてインクレチンの作用を高める内服薬と、DPP-4で分解されにくくした注射薬があります。単独では低血糖になりにくいという今までにない特徴や、インスリン分泌能を改善して血糖降下剤やインスリン投与量を減らすことが期待できます。

昨年は、SGLT2阻害剤というお薬が発売されました。腎臓に働きかけて糖の再吸収を抑え、尿から糖の排泄を増やし、血糖を下げます。これら新しいお薬の登場により糖尿病治療の選択肢が広がり、より効果的な薬物治療を行うことが出来るようになりました。

今回紹介した新しいお薬を含めた糖尿病治療薬全般について、糖尿病教室でも薬剤師が担当してお話をしています。ぜひご参加ください。





今回は、首の動かし方について紹介
します。最近では、慢性的な痛みの原
因として実際のカラダの動きと自分が
思っている動きのズレが痛みを引き起
こすと言われてています。自分が感じて
いるカラダの動きと実際のカラダの動
きを比べて、カラダのズレを自分で治し
ていきましょう。

ステップ

I

目印を付けた鏡の前にまっすぐに坐ります。目印にあわせて
首を動かします（パターン①、②）。目印と鏡に映った自分の
姿を見ながら、首を動かしている感覚を覚えます。
※ 違和感や痛みが伴わない範囲で動かしてください。

ステップ

II

首を真ん中に戻して目を閉じます。目を閉じてステップIで覚
えた感覚を思いかえしながら、頭の中で思った目印の位置ま
で首を動かします。到達したと思ったら、目を開けてくださ
い。頭で思った目印の位置と実際の位置とを比べてくださ
い。

ステップ

III

左右でズレがあったり、目印をみてのズレがある場合は、修正
をしていきます。ステップIで動かした感覚を再度覚えなおし
て、実際の感覚と合わせていくように修正してください。

※ 違和感がある中で動かすと効果が得られにくいですので、違和感のない範囲
で同じ感覚をとりながらイメージしていくと修正していきやすいです。正しい
感覚で動かすことでスムーズな動きが得られます。

聖書の小道

第18回 「神の子の祈り」

あなたの御心が行われますように

マタイによる福音書
26章42節より

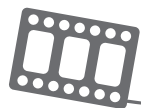
みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン 宮川 裕美子



福音書にはイエスが出会った人々を見て、時にはその内なる心を知って
憐れみ、惜しみなくご自身の持てる業や力を与えて癒しや奇跡を行われた
物語が多くあります。しかしそのように人々のために働かれたイエスご自身
はというと、自身の命の危機的な状況においてその力を用いず、ひたすら神
の思いを求めて祈られました。

わたしたちの心にはさまざま願いや祈りがあります。しかし神の子が祈
られた祈り—この祈りこそが人知を超えた神の愛を明らかにし、神の和解
や平和へと導くのです。皆さんの今日の祈りに神の子イエスの祈りが伴い
ますように。



歴史 HISTORY バプテストの歩み 第11回

丘陵掘削・土地造成工事（後編）

土地の造成も進み、1961年4月に看護師宿舎（現管
理棟）竣工、5月に原爆医療指定医療機関、結核医療を
担当する機関に指定。

1962年4月には外来、調理場増改築工事起工、
1963年1月に外来・調理場増改築工事竣工、11月には
病理解剖室が完成・使用開始と、かなりの速さで次々
と病院としての設備が整い始めました。

特に病理解剖については「病院・第25巻第13号
（1965年12月1日）」の今村栄一氏の記事の中で「病
理科が独立し、専門の病理学者がいる」と紹介され、ま

た同第31巻第1号（1972年1月1日）」の紀伊國献三氏
の記事にも「150床の病院にフルタイムの病理専門医
を置こうとする姿にも建前を守ろうとする努力が伺わ
れる」とあるように、この時期の病理解剖は国内で抜群
のものがありました。

剖検率は病院への信頼度を端的に表す、と言われま
す。これを支えたのは医師、看護師、病院チャプレンを
はじめとする全職員の患者・家族方への不断の心遣い
と誠実な対応でした。

お知らせ

緩和ケアクリニック・病院 第5回 バプテスト緩和ケア勉強会

日時：2015年3月7日（土）
午後2時～4時半（開場1時半）

場所：京都メルパルク
基調講演演者：田村恵子先生

詳細はホームページを
ご覧ください

[http://www.jbh.or.jp/
news/1601.html](http://www.jbh.or.jp/news/1601.html)

催し物報告

医療団 クリスマスコンサート

12月20日（土）の午後、今年も京都シティーフィル合唱団（約40名）をお迎えしました。毎年、医療団を覚えてコンサートに出演くださり、今回で16回目となります。当日はあいにくのお天気でしたが、クリスマスの歌を聴き、皆さんと喜びの時を持つことができました。「ハーモニーの美しさに感動しました」「楽しかった・よかった」とご感想をいただきました。



参加者67名

献金・献品 感謝ご報告 (2014.11.1～12.31) 敬称略

粟津 敏行 丸山 圭蔵 長谷川 千夏 家藤 祐三子 東 千浪
富田 良雄 小山 信一 小山 都子 花倉 嘉子 今井 芳美
長尾 恭子 大原 典子 岩西 敬一 中嶋 昌枝 吉田 悦子
西南幼稚園 同志社女子高等学校

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課
電話 (075) 702-5926

お知らせ

医療団 ホスピスボランティア募集

日本バプテスト病院では、月～土のいずれかで13時～16時頃までティータイムのお世話やベットまわりの整理整頓、話し相手などをしていただける（1年以上活動できる20歳以上の方）ボランティアを募集しています。

※ 活動開始7月～

園芸・蘭の知識のある方・パソコン作業・ソーイング
できる方歓迎致します

下記の説明会&面接・研修会の両日に参加が必要です。
参加希望の方は必ず事前連絡をお願い致します。

説明会&面接 (筆記用具持参)

2015年5月16日（土）13:00受付 13:30～16:00

研修会

2015年6月13日（土）13:00受付 13:30～16:00

両日とも、場所は、(財)日本バプテスト連盟医療団
看護専門学校内 イマヌエルホールです。

<http://www.jbsn-kyoto.com/access.html>

T E L 075-702-5927

F A X 075-701-9996

メール volunteer@jbh.or.jp

担当

総務課 松屋・山本

問合せは「ホスピスボランティア応募」と明記し、氏名・住所・年齢・電話番号・メールアドレス等を、FAX 又はメールにてお願いします！

編集 後記

少し早いですが、もうすぐ春ですね！春といえば、桜のシーズン！桜の花言葉は種類によっていろいろあるようですが、「豊かな教養」という花言葉は入学式にぴったりだなと思います。他にも「優美」など素敵な言葉がたくさんあるようです。今シーズンは友人と花見酒なんておしゃれな夜を楽しめたらいいなと思っております～(^^)

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.128 2015年3月発行

発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/代表理事 北 堅吉 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト眼科クリニック <http://www.eye-clinic.gr.jp/>

バプテスト緩和ケア訪問看護ステーション <http://www.jbh.or.jp/sisetsu/houmonkango.html>

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック <http://www.jbh.or.jp/bhh/>

日本バプテスト看護専門学校 <http://www.jbsn-kyoto.com/>